学校番号	3030

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	「高校生の美術Ⅱ」　（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・自然、自己、社会などを深く見つめ個性豊かな表現を追求する「絵画・彫刻」「デザイン」「映像メディア表現」と、発想や構想の独自性、表現の工夫などについて多様な視点から分析を試みる「鑑賞」の分野について学習します。
・表現したいことや目的に合った表現方法を選び、創造的で心豊かな表現を目指します。
・「鑑賞」を通して自分とは異なる表現や考え方を知り、そこから自分の考えや感じ方をさらに深めていきます。

2　学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・画材や素材､技法について理解しており、その基礎知識を踏まえ目的や意図に応じた応用ができている。【知】 ・画材や道具を目的や用途に合わせて正しく活用している。【技】	・与えられたテーマについて自らの考えや表現したいものを明らかにし、作品に反映するために創意工夫している。 ・構図や色彩などの意図を説明できている。	・制作における疑問点はその都度確認している。 ・授業毎に取り組んだ内容や次回の課題などを製作メモとしてノートにまとめている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期中間	人物模写(鉛筆)	・正確な模写をするための方法について学ぶ。 ・人物画を選び、人物の姿を正確に模写したうえ、描かれた線の強弱や太さ、重ねやぼかしなどを観察し再現する。	a:【知】人物が描かれた色合いや筆運びなどを細かく観察し、人物を構成する要素を正確に捉えることの重要性を理解している。 b:【技】鉛筆を用いた濃淡のつけ方や線の重ね方など、作品が描かれた状況を想像し再現しようとしている。 c:模写する作品の特徴を捉えるために主体的に取り組んでいる。	観察 作品	観察 作品	観察 ノート
前期中間～期末	人物模写(油絵)	・キャンバス制作 木枠を組み生地を張りキャンバスを作る。絵具の重さや筆の筆圧によってキャンバスの張りを自分で調整する。 ・人物画を選び、人物の姿を正確に模写したうえ、描かれた色味の再現または近しい色を作り、筆のタッチと塗り方をじっくり観察し再現する。	a:【技】道具を適切に取り扱い効率的な作品作りができている。 a：【知】油絵具の特徴を理解し、計画的に制作に取り組んでいる。 b:模写する作品に使われた絵具の色合いや筆致を観察し再現している。 c：模写する作品をじっくり観察し、その特徴を捉えようとしている。	観察 作品	観察 作品	作品 ノート
前期期末	シルクスクリーン	・版画の種類と版の作り方、印刷方法の特徴と違いについて学ぶ。 ・シルクスクリーン(孔版画)の技法を用いた表現について考える。 ・構想を基に自分の表現意図に合う表現方法を工夫する。 ・主題を追及し、表現を深める。	a:【知】シルクスクリーンの技法と効果を十分に理解している。 b:【技】印刷する順番や使用する色の効果を予想し完成図を描いている。 c：技法について理解し表現することに関心をもち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。	観察 作品	観察 作品	観察 作品 ノート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度